



## 「コンサルティングエンジニア連盟のみなさまへ」

令和3年2月

参議院議員

佐藤信秋

みなさんこんにちは！  
参議院議員の佐藤信秋です。

いつもコンサルティングエンジニア連盟の皆様にご支援を頂き誠にありがとうございます。

さて、去る12月11日に国土強靱化5か年が決定致しました。

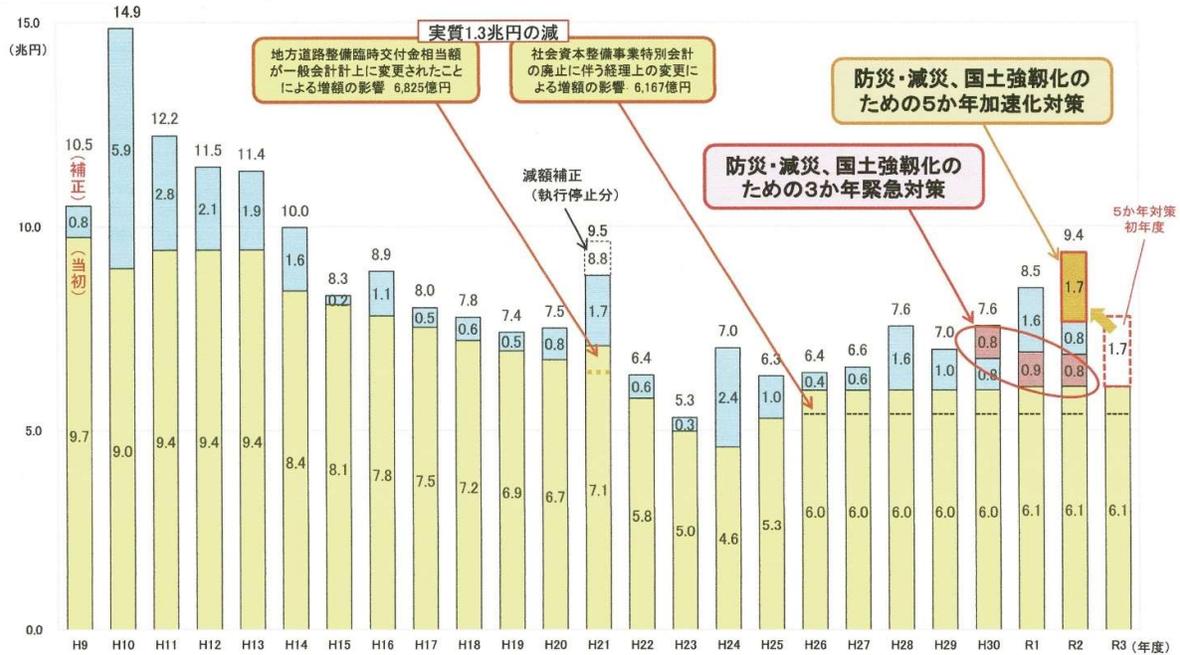
強靱化計画は見方によっては80点から120点、これも皆様のご支援のおかげで、現時点では満足すべき結果かと思えます。

1. 長期的 — 3年から5年に延長
  2. 拡充 — 老朽化対策やらミッシングリンク解消など
  3. 規模拡大 — 3年で7兆円から5年で1.5兆円に。約3割増
  4. 別枠 — 通常予算に「加速化」として上積み
  5. 計画的に — 閣議決定してKPI（数値目標）で政府として約束。かつて行なわれていた五ヶ年計画とは雲泥の違い。かつての五ヶ年計画は、要求官庁の言い分。今回は政府の約束。
  6. 当初予算で — 今回は15ヶ月予算で補正で大幅に前倒し。
- 従って、5年分は決まりです。

さらに12月15日には、令和2年度補正予算案が閣議決定されました。国土強靱化5か年加速化対策15兆円のうち、令和3年度分の公共事業費は、15ヶ月予算として、この補正予算に国費約1.7兆円、事業費約2.4兆円が計上されました。公共事業費関係国費の推移を別添グラフのようにまとめて見ました。この為、令和2年度は結果として、近年の中では、最多の予算になりました。令和3年度当初は令和2年度の通常予算を26億円増額確保で12月21日閣議決定されました。5か年対策の残り4年分は、国費としては毎年度分約1兆円台半ば近く、通常予算に追加が必要と思われる。中長期的な見通しに立って、毎年度これを計画的に当初予算に計上して、しっかり、実行していくことが重要と思っています。

安心安全な国土と建設コンサルタント業を元気に、を合言葉に、本年も変わらぬ厚いご支援・ご指導をお願い申し上げますと共にコンサルティングエンジニア連盟の今後益々のご発展と皆様のご健勝とご多幸を心から祈念致します。

## 公共事業関係費の推移(政府全体)(精査中)



※ 本表は、予算ベースである。また、計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。  
 ※ 平成21年度予算については、特別会計に直入されていた地方道路整備臨時交付金相当額(6,825億円)が一般会計計上に変更されたことによる影響額を含む。  
 ※ 平成23-24年度予算については、同年度に地域自主戦略交付金に移行した額を含まない。  
 ※ 平成26年度予算については、社会資本整備事業特別会計の廃止に伴う影響額(6,167億円)を含む。

佐藤信秋事務所作成